

研究課題名	切除不能肝細胞癌に対する薬物療法に関する多施設共同研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之
研究期間	(西暦) 2020 年 7 月 ~ 2025 年 6 月
研究の意義・目的	<p>切除不能肝細胞癌に対する薬物療法は経カテーテル的肝動脈塞栓化学療法(TACE)不応・不適例や、遠隔転移や脈管浸潤を有する肝細胞癌に推奨されている。現在1st line薬剤としては小分子標的薬であるソラフェニブまたはレンバチニブが推奨され、2nd lineとしてはレゴラニブ・ラムシルマブが承認されている。一方これらの薬剤選択についてのエビデンスは未だ存在しない。実臨床では臨床試験と比較し高齢者が増加し他臓器疾患を合併する症例も治療対象となる。よって薬物の投与量・投与間隔の調節など様々な工夫が行われており、それらが予後・再発に与える影響を解析することは患者の予後を最良のものとするために意義深い。薬物療法関連有害事象についても限られた患者層での臨床試験結果では実臨床での実態を把握することは困難である。本研究では多施設から得られた切除不能肝細胞癌患者における各種薬剤別の治療効果・治療状況・有害事象・後治療のデータを検討し、実臨床での肝細胞癌薬物療法の臨床成績を明らかとし、更なる治療成績向上を目指した肝細胞癌薬物治療戦略を考察することを目的とする。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	後ろ向き観察研究 (2009年~2025年6月までの薬物療法施行例)
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①情報は全て匿名化し使用。試料の利用はない。 ②薬物療法に関する臨床情報 ③研究責任者が許可した研究分担医師のみ情報を利用する ④武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 土谷 薫 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525